

自治体・国際交流協会等担当者向け

令和5年度災害時外国人支援研修

大地震などの災害が発生した際、外国人住民については、日本語が十分に理解できないために正確な情報を得ることができないこと、また、災害経験・知識の少なさから不安を感じやすいことなどから、特別な支援が必要と想定されています。こうした外国人への支援について、自治体や関係団体担当者向けの研修を実施します。今回は「災害多言語支援センター」立ち上げ後のケーススタディを通して他機関との連携のあり方を考えます。

<研修内容>

- 1 災害時の外国人支援について(講義)
- 2 ケーススタディによる他機関との連携ワークショップ(演習)

※研修終了後、防災危機管理センター内のオペレーションルーム等の見学を予定しています。

開催日程

10/27

金

13:30~16:30

研修講師

(一財)ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎 氏



阪神・淡路大震災で被災した外国人への支援を機に多文化共生や災害支援、復興まちづくりの活動に従事。2007年にダイバーシティ研究所を設立し、企業のCSRや自治体施策を通じた多様性配慮の取り組みをサポートする。

東日本大震災直後に内閣官房企画官となり、官民連携での被災地支援を担当。現在も復興庁参与として東北復興に携わるほか、法務省出入国在留管理庁「総合的な支援をコーディネートする人材の役割等に関する検討会」構成員など、政府の有識者会議委員も務める。

共著に「つないで支える」「企業と震災」「好きなまちで仕事をつくる」などがある。

会場：富山県防災危機管理センター

研修室3-A・B

(富山県庁敷地内)

定員：25名(申込多数の場合調整有)

対象：県内自治体職員

国際交流協会職員 等

参加費：無料

※県庁の駐車場が利用できます。

お申し込みは
こちらのフォームから！
締切：10/13(金)



(フォームURL)

<https://forms.gle/hLqe2P1hpKt1d4ZR9>

お問い合わせ (公財)とやま国際センター

〒930-0856 富山市牛島新町5番5号 インテックビル(タワー111)4階

TEL ▶ 076-444-2500 担当：中村

とやま国際センター

検索

HP ▶ <http://www.tic-toyama.or.jp/>

主催：富山県、(公財)とやま国際センター